

理 由 書（案）

小田南公園は、昭和５４年に都市計画決定された面積約９．４ｈａの総合公園で、現在約５．６ｈａが供用されているが、残りは未整備となっている。

こうした中、令和４年２月には都市再生整備計画（阪神大物駅周辺地区）を策定し、小田南公園・大物公園などまちなかにおける既存都市公園を中心に居心地が良く歩きたくなる空間を形成させ、公民連携によるゆとりと賑わいの創出に取り込むこととなった。

小田南公園については、官民連携の手法による阪神タイガースファーム施設の整備などにより、スポーツをきっかけとした市民の健康の増進、にぎわいの創出、地域の防災機能の向上を図る方針として再整備事業を進め、令和７年３月にリニューアルオープンした。

都市再生整備計画区域内の公園の再整備をあわせて行うことにより、変更後の計画区域において、総合公園として必要な機能が確保できることから、一部区域を削除する。